

業 務 棚 卸 表

年度	平成16年度	作成日	平成16年6月3日
所属名	小牧市民会館		
所属コード	013511	作成者	山田 鋼平
評価日	平成17年5月31日	評価者	山田 鋼平

		成果・活動指標	実績(平成15年度)	実績(平成16年度)	目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度測定
上位目的	市民の同和問題に対する差別意識や偏見がなくなる	市民意識調査による、結婚において同和問題を気にしない市民の割合	28.8%(平成11年度)	33.3%(平成16年度)	35%(平成16年度)	A		
任務目的	隣保事業への参加人数を増やし、人権意識の向上を図る	隣保事業への延べ参加者数	2,486人(平成15年度)	3,318人(平成16年度)	2,740人(平成16年度)	B	100%	☆☆☆
任務目的に対する評価	これまでの取組と成果、手段の妥当性 これからの課題、施策・事業展開の方向性	地域住民の福祉の向上と人権啓発の拠点施設として、地域住民や関係機関等との連携の下に各種の事業を実施した。引き続き、地区内外の住民の交流を通じた仲間づくりの視点で事業を進め、他地区からの館事業等への参加者増など着実な成果があるものと評価している。 まだまだ、人権啓発をはじめ福祉や教育の分野で少なからず課題がみられ、人権プラザに期待される役割、意義は大きいと考える。16年度は、事業展開の基礎資料とするため、地区住民を対象にアンケート調査を実施した。この結果も踏まえながら、周辺地区も視野に入れた事業の展開に努めていく。						

任務目的が2つ以上ある場合は合計が100%となるよう設定してください。	
シート名	業務割合
Sheet1	100%
Sheet2	
Sheet3	
合計	100%

総労働時間数	9,074
所属正職員人数	2
〃(管理職除く)	1
年間所定労働時間数	1,944
所属平均時間外数(月平均)	31.0
所属平均年休・夏特日数	20.5
全嘱託職員総労働時間数	1,944
全臨時職員総労働時間数	3,200

業務コード 2桁 4桁	目的達成に必要な主な手段	活動指標	実績(平成15年度)	実績(平成16年度)	目標(目標年度)	困難度	業務割合	業務時間数	達成度測定	基本的な手段に対する評価
01	地域交流事業	延べ参加者数	2,082人	2,624人	2,280人(平成16年度)	A	25%	2268.5	☆☆☆	キッズホリデースクールや各種の教室、講座、館文化祭等を実施し、地区内外の交流の促進に努めた。また、参加者の固定化などの課題に対処し新たな講座等を模索するため、陶芸教室や健康体操といった短期の講座も実施したが、他地区からの参加者は多く、今後も地区に軸足を置きながら人権啓発の視点で事業を展開していく。
0101	キッズホリデースクール	参加者数	222人	246人	240人(平成16年度)	A	25%	567.1		
0102	地域リーダー養成講座	参加者数	—	—	10人(平成16年度)	A	10%	226.9		
0103	パソコン教室	参加者数	34人	40人	40人(平成16年度)	B	15%	340.3		
0104	教養講座	参加者数	1,469人	1,763人	1,500人(平成16年度)	B	30%	680.6		
0105	交流スポーツ事業	参加者数	0人	125人	100人(平成16年度)	C	10%	226.9		
0106	市民会館文化祭	参加者数	357人	450人	370人(平成16年度)	A	10%	226.9		
4桁合計					4桁業務割合合計		100%			
02	相談事業	利用者数	364人	530人	375人(平成16年度)	A	25%	2268.5	☆☆☆	相談等の内容をみると、福祉、教育、住宅など複雑多岐に及ぶ場合が多く、関係機関等との連携を密にしながら、地域住民の支援に努めている。 教育関係では、保育園、幼稚園、小学校、中学校のほか地域との連携を大切に一人一人の子どもたちに焦点をあてながらきめ細かい支援をおこなっており、今後もさらに関係機関のネットワーク化を進める。
0201	職業・経営相談	利用者数	50人	70人	40人(平成16年度)	B	10%	226.9		
0202	生活相談	利用者数	61人	50人	60人(平成16年度)	B	20%	453.7		
0203	弁護士等による相談	利用者数	—	—	5人(平成16年度)	B	10%	226.9		
0204	福祉相談	利用者数	30人	55人	50人(平成16年度)	B	15%	340.3		
0205	教育相談	利用者数	120人	100人	100人(平成16年度)	A	30%	680.6		
0206	健康相談	利用者数	103人	255人	120人(平成16年度)	B	15%	340.3		
4桁合計					4桁業務割合合計		100%			
03	地域福祉事業	参加者数・回数	40人・20回	164人	130人・30回(平成16年度)	B	10%	907.4	☆☆☆	高齢化は、市全体の状況より進展しており、高齢社会に対応可能な地域社会づくりが必要であり、今後、関係機関等と連携しながら自助助の組織づくりに取り組んでいく。
0301	高齢者のつどい	参加者数	40人	116人	130人(平成16年度)	B	20%	181.5		
0302	独居老人宅訪問	回数・訪問者数	20回	48人	30回(平成16年度)	B	80%	725.9		
4桁合計					4桁業務割合合計		100%			

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標	実績(平成15年度)	実績(平成16年度)	目標(目標年度)	困難度	業務割合	業務時間数	達成度測定	基本的な手段に対する評価	
2桁	4桁										
04	啓発及び広報活動事業		回数	73回	63回	64回(平成16年度)	B	10%	907.4	☆☆	17年3月に実施したアンケート調査では、館発行の地区内広報誌が多くの人に読まれ、活用されていることがわかった。今後も、地域住民の声を聞きながら、さらに効果的な啓発広報活動を展開していく。
	0401	お知らせ版発行	回数	24回	24回	24回(平成16年度)	B	30%	272.2		
	0402	伝言板発行	回数	24回	24回	24回(平成16年度)	B	40%	363.0		
	0403	健康だより発行	回数	24回	12回	12回(平成16年度)	C	5%	45.4		
	0404	同和問題等学習会	回数	1回	2回	2回(平成16年度)	B	20%	181.5		
	0405	ホームページ	更新回数	—	1回	2回(平成16年度)	C	5%	45.4		
4桁合計						4桁業務割合合計		100%			
05	隣保館運営関係会議		回数	16回	10回	16回(平成16年度)	A	5%	453.7	☆☆	館運営委員会では、地域の団体や関係機関の代表者等の参画を得て、館事業に対する幅広い意見を受けており、運営委員会が形骸化することのないよう、運営委員会と協働して今後の方向を見い出す。
	0501	市民会館運営委員会	回数	3回	3回	3回(平成16年度)	A	70%	317.6		
	0502	三重県隣保館連絡協議会	回数	13回	7回	13回(平成16年度)	C	30%	136.1		
	4桁合計						4桁業務割合合計		100%		
06	自主・自立活動への支援		回数	114回	187回	118回(平成16年度)	A	15%	1361.1	☆☆	自治会では、市の補助金がカットされることを受け経費の節減等を積極的に検討しており、また、各団体でも若い世代を中心に、運営企画を自分たちの手でやっという意識が高まっているなど徐々に自主自立の意欲が表れてきている。今後も地域住民の自主自立を促進する観点から、個々の活動を積極的に支援していく。
	0601	自治会	回数	10回	11回	10回(平成16年度)	A	15%	204.2		
	0602	青年会	回数	-	42回	3回(平成16年度)	B	10%	136.1		
	0603	育成会	回数	35回	31回	30回(平成16年度)	B	25%	340.3		
	0604	老人会	回数	26回	33回	30回(平成16年度)	B	15%	204.2		
	0605	教育を守る会	回数	30回	22回	30回(平成16年度)	A	25%	340.3		
	0606	乳幼児を育てる親の会	回数	13回	48回	15回(平成16年度)	B	10%	136.1		
4桁合計						4桁業務割合合計		100%			
07	対外的対応		回数	78回	100回	100回(平成16年度)	B	10%	907.4	☆☆☆	子どもたちが自らの人生を自ら切り開いていく力を身に着けることが大切であり、地域の大きな課題でもある。自治会や保・幼・小・中等との緊密な連携のもとに子どもたち一人一人に焦点をあてながらきめ細かな支援に努める。
	0701	保々地区同推協	回数	10回	24回	10回(平成16年度)	C	15%	136.1		
	0702	保・幼・小・中・高	回数	55回	70回	80回(平成16年度)	A	60%	544.4		
	0703	各種大会・研修会	回数	13回	6回	10回(平成16年度)	B	25%	226.9		
4桁合計						4桁業務割合合計		100%			
90	内部業務							10%	907.4	/	館の運営は、住民の利便性を踏まえ、時間外や土・日などに及ぶ場合が少なくない。そのため、より効率的な館運営に資する観点から変則勤務などの方策等について検討していく。
	9001	庶務業務						50%	453.7		
	9002	施設管理業務						30%	272.2		
	9003	苦情処理業務						20%	181.5		
4桁合計						4桁業務割合合計		100%			